

広報

ただみ

6

2016 月号

No. 553

平成28年6月10日

五月晴れのもと紅組と白組の熱戦が始まる!!

今月の表紙

5月14日の朝日小学校運動会開会式の様子です。青空のもと誓いの言葉を6年生の目黒希さんと渡部菜子さんが元気いっぱいに述べた後、紅組と白組の熱戦が始まりました。保護者や地域の皆さんも大きな声援を送っていました。

【関連記事8ページ】

特集「自然首都・只見」を教育旅行の里に……………2~3

＜News&flash＞

「神皇正統記」の写本発見／

熊本地震被災地へ応援メッセージ ほか……………4~7

＜町の話＞

町内3小学校で運動会／

「100人手植え」イベント ほか……………8~11

特集

「自然首都・只見」を教育旅行の里に 只見町教育旅行補助金制度を活用し学校を誘致



▲仙台市八木山中学校の生徒と先生の皆さん



▲仙台市広瀬中学校の皆さんの受入の様子(左右)



▲仙台市八木山中学校の皆さんの受入の様子(左右)

今年のみ見町は、5月から10月まで県内外から多くの小・中・高の児童・生徒達が、修学旅行や林間学校など教育旅行（宿泊体験学習）に訪れます。平成26年6月に登録となった只見ユネスコエコパークのフィールドを活用して、生徒達は自然環境を学び、農家民泊で田舎体験をし、町内の観光施設や宿泊施設で学校生活の思い出をつくっていきます。今回は、只見町を教育旅行の里にする為の施策と、その活動内容をご紹介します。

◆災害による背景

平成23年に発生した東日本大震災や新潟・福島豪雨災害により、只見町に訪れる教育旅行の学校数が減少しました。震災直後の予約取消は、5校709人に上り、多くが首都圏の学校でした。福島第一原子力発電所の事故による風評被害により、町に教育旅行で訪れたのは、県内の学校だけになってしまいました。

しかし翌年の平成24年、千葉県習志野市にある私立「東邦大学付属東邦中学校」は、風評がまだ残る中で当町を訪れました。当町を選んだ理由として「農家民泊体験の受入ができる只見町に決定した」とのことでした。町では、災害前から積極的に農家民泊を推進し、受入農家を増やしてきました。結果、震災から1年

後には「東邦中学校」の受入につながりました。

◆町をあげての目標と施策

町は教育旅行の積極的な受入を推進する為に、「只見町総合戦略」において、受入人数を平成27年度284人から平成31年度1,000人という目標を掲げています。目標達成の為、「只見町教育旅行補助金」を平成27年度に制度化しています。「只見町子ども農家体験協議会(事務局/町観光まちづくり協会)」が窓口となり、補助金を活用しながら、営業活動を積極的に行的学校の誘致を図っています。学校側に、町の受入体制と宿泊費の一部助成などをアピールすることで、行き先の候補地となるなど成果がでていきます。

「H28年度町教育旅行補助金」

- ◆予算／7,000,000円
- ◆下見(視察)費補助
- ◆宿泊費補助(生徒・引率)
- ◆町内の移動費補助
- ◆旅行会社広告宣伝費
- ◆合宿補助(宿泊費)
- ◆誘致活動費

「H28年度産業振興対策補助金」

農家民泊開業に係る費用を補助。

- ◆農家民泊開業申請費用
- ◆飲料水など滅菌装置設置費

※補助率／各項目8割補助

※農家民泊開業者を募集しております。

詳しくは下記まで。

事務局／町観光まちづくり協会 (Tel.82-5250)



▲別れを惜しむ生徒と農家さん



▲千葉県八千代市村上東中学校の皆さん

◆福島県のサポート

福島県でも風評被害の払しょくと、教育旅行の受入回復を図る為に様々なサポートを展開しています。県南会津地方地方振興局では、バス代や宿泊費、体験費などを助成する補助事業を制度化しており、郡内における教育旅行の受入回復に大きな効果をもたらしています。町もこの補助事業を活用し、更に町教育旅行補助金と併用し、学校側の風評被害を払しょくするメリットを作りあげています。

◆只見ユネスコエコパークの活用と他町村との連携

学校側のニーズは多様化していますが、町の特性を活かして、ここでしかできないことを考え提案してきたコースがあります。それは「ユネスコエコパークに認定されたフィールドを活用し、環境学習としての学びの場を提供すること」です。人と自然の共生がユネスコエコパークの理念であり、只見町の豪雪がつくりあげた自然環境と、そこで暮らす町民の暮らしこそが、学校側へ提供できる最高の学びだと考えます。

そこで町が推進する体験が「農村生活体験」なのです。雪と暮らす町の普段の暮らしを体験することで知恵を学び、農家さんの包みこむような愛情に触れることで、生徒達の一生の思い出になり、学校側の満足度も上がりリピーターとなります。東邦中学校は今年で継続5年目となるリピーターです。

また、只見町のもう一つの施策が、他町村との連携です。只見町の農家民泊の受け皿は、

民泊稼働軒数が約35件程度であり、130人程度が限界です。しかし、隣接する南会津町や金山町と連携することにより、受け皿の規模を400人まで大きくすることができ、この連携により、大規模校の受入も可能になります。コースも他町村と連携することにより、学校側のニーズに合ったメニューの選択肢が広がり、誘致の可能性が高くなります。

◆平成28年度の受入

昨年度から実施した施策や他町村との連携、営業活動などにより、今年度は5月から10月まで仙台や関東方面、大阪など県内外から13校807人の受入が決定しています。5月は仙台市や千葉県から3校の新規中学校を、近隣町村と連携し受入を実施しました。

3校に只見町に来た理由を伺うと、「農家民泊の受入規模が大きかった為」や、「バス代が高騰しているが、補助が充実しており、保護者の負担が軽減できる為」只見町に対する



▲農作業にチャレンジ

イメージについて、自然環境が素晴らしく良かったなどの意見が聞く事ができました。これは学校側のニーズと町の施策が合致し、更に風評被害も少しずつ収まっていると感じました。

◆今後について

このように町は、教育旅行の里にする為、様々な施策に取り組んでいます。受入目標「年間1,000人」を目指し、更に合宿などの受入体制も強化し、町に多くの学校が足を運んでもらえるよう、今後も事業の推進を図っていきます。地域の皆様も、教育旅行生に会ったら是非「こんにちは！」とむかえて頂きますようご協力お願い致します。

県内初「神皇正統記」16世紀の写本

5月12日、町教育委員会は、町内の民家で23年前に発見された書物「神皇正統記」の写本が、天正十五年（1587年：安土桃山時代）に書き写され、文化財としての価値が高いとする調査結果を発表しました。

◆神皇正統記の写本とは

「神皇正統記」は原本が見つかっていませんが、全国に約20点の写本が確認されています。国指定重要文化財に指定されているものは2件あり、『國學院本』（東京都）と『白山本』（石川県）があります。その他にも、県指定文化財は『六蔵寺本』（茨城県）や『日光本』（栃木県）などがあります。

平成元年から実施していた町史編さん事業の過程でこの書物は確認されていました。詳細な調査は実施されていませんでした。原田家は、江戸時代には医師を営んでいたことは町史編さん期にも知られており、この書



▲発見された「神皇正統記」の写本



▲漢字に音訓読みを指示する記号も振られている

物を代々大切に保管し、受け継いできました。

教育委員会は平成26年度からこの史料の詳細を明らかにするため、久野俊彦氏（東洋大学講師）と小池淳一氏（国立歴史民俗博物館教授）に調査を依頼し、調査を実施しました。発見された『神皇正統記』と只見町内から見つかった他の資料と照合するなどの結果、下野国（栃木県）の真言宗の僧侶『祐俊』の字体と一致し、上野国（群馬県）の雷電神社で書き写した点などもわかりました。

◆只見本神皇正統記の特徴

写本は1行が29字で1ページあた

り9行記されています。今回発見された『神皇正統記』にはいくつかの特徴があります。

一つ目は、音読しやすいよう、漢字が音読みなのか、訓読みなのかを指示する記号が振られています。また、指示する記号が振られていることは、この写本が書き写された当時の読み方を示しているものだと考えられます。

二つ目は、冊子と同じ方も他の写本にはない特徴があり、二つ折りにした数枚の紙を糸でとじ合わせる「綴葉装」という手法でとじられています。現在発見されている『神皇正統記』で、このとじ方の完本は唯一です。

三つ目は、奈良・東大寺の大仏建立など歴史上の出来事を伝えている13箇所ページには付箋が貼られています。祐俊が自らのために写本を用意し、民衆の興味がある出来事を伝えたり、説法したりする際に活用していたことが推測されます。

◆書写した人物「祐俊」

現在只見町には、「祐俊」が書いたものが、3点発見されています。『祐俊』は、下野国金剛定寺の門徒（真言宗の信者のこと）であったことから、下野国（栃木県）出身であったと考えられます。京都・醍醐寺の僧侶に同行して会津地方にたどりきたと推測されま

す。只見町から3点見つかったことから、『祐俊』の活動範囲が関東から奥州会津であり、そこに只見町域が含まれていたと考えられます。

◆只見本神皇正統記の重要性

久野氏は「只見の写本は神皇正統記が中世の人々にどう受け入れられ、必要とされたかを推し量る材料になる」と指摘し、「中世の只見に、京都、奈良などの知識や学問が入り込んでいた事が分かり中世の奥会津の文化水準が高かったことがうかがい知れる貴重な資料だ」と高く評価しています。また、「エコパークに選ばれた只見町には、自然の他にも、書物や文書も大事にする心があつたからこそ、数多くの貴重な書籍や文書が発見される」と話していました。

町教育委員会は、写本を町指定文化財の手続きを進め、県指定文化財も目指す予定です。

「神皇正統記」

南北朝時代の1339年（延元4年）に公家の北畠親房が記した歴史書。神代から後村上天皇が即位するまでの日本の歩みが3巻にまとめられ、天皇の権威や天皇中心の政治のあり方に対し、親房が論評を加えている。後村上天皇とその子孫のために執筆したとされており、南朝の正統性を強調している。

町内小・中学校の児童・生徒

熊本地震被災地へ応援メッセージ

今年の4月14日以降に、熊本県と大分県で相次いで発生している「熊本地震」。最大震度は7を観測し、街は甚大な被害を受け、多くの被災者が避難生活をおくっています。

そのような状況の中、町内の只見・朝日・明和の各小学校と只見中学校では、「今回の地震で大変な思いをされている方々を応援したい」「5年前の東日本大震災で福島を応援してもらった。今度は逆に応援したい」という思いから、被災地の学校や教育委員会へ応援メッセージを送りました。

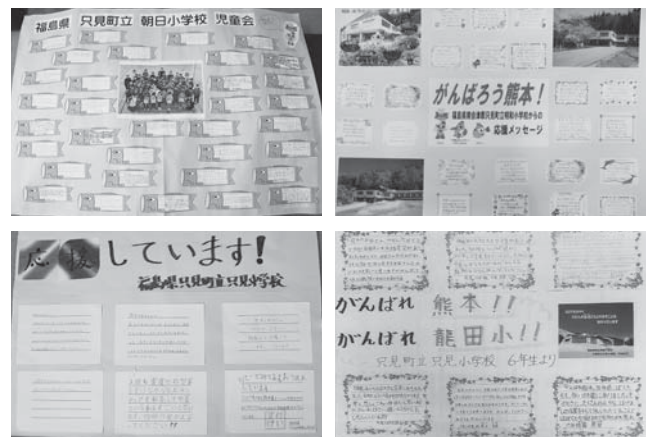


▲生徒全員で被災地を応援する只見中学校の皆さん
(写真は3年生の皆さん)

児童・生徒達は、「地震怖かったよね。一日でも早く普通の生活に戻れるよう祈ってます。」「5年前に只見町も大きな災害がありました。その時多くの方から励ましの言葉をもらいました。今度は私達が励まします。熊本の皆さんがんばって下さい。」「被災した中学生の皆さんが、積極的にボランティアしていることを知りました。応援しています。」など、被災地の方々を思った応援メッセージを作成しました。

只見小学校は、柳沼信之教頭先生が以前郡山市立芳山小学校に勤務していた際に、震災にあい、熊本県の龍田小学校から応援メッセージなどを送って頂いたという繋がりがあり、今度は只見小学校から龍田小学校へ応援メッセージを送りました。また、朝日・明和小学校と只見中学校は、熊本地震で一番被害が甚大であった益城町の教育委員会へ応援メッセージを送り、被災した学校へ届けられました。

只見小学校が送った龍田小学校からは、本村真校長先生より「きちんと現状をつかみ、寄り添い、励ます応援メッセージに涙が止まりませんで



▲児童・生徒が心をこめて作成した応援メッセージ

した。5年前応援したことを覚えていていただき、今回このようなお返しを受けとり、繋がることの温かさをひしひしと感じました。」と御礼のメールが届きました。

今回の応援メッセージを送ることで、子ども達も熊本地震について学び、被災者の目線に立つて考えることができました。只見町でも、熊本地震災害の被災者を支援するために、義援金の受付をしております。詳しくは町ホームページ又は、4月22日発行のおしらせばんをご覧下さい。

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



▲応援メッセージをみんなで協力して作った明和小学校の皆さん



▲みんなで被災地を応援する朝日小学校の皆さん



▲被災地の状況を学びメッセージを作成する只見小学校の皆さん

カルガモクラブ 開講式

只見振興センターで5月17日、カルガモクラブの開講式が行われ、16組の母親と子ども達が参加しました。

カルガモクラブとは、育児で家に閉じこもりがちになる母親達の情報交換や友達づくりの場として、保育所入所前の幼児とその母親を対象に実施しています。スタッフは民生児童委員の皆さんと教育委員会、常に子ども達の近くで安全に遊べるようにサポートしています。また、母親も子ども達を安心してまかせることができるので、ゆつくりとママ友との情報交換ができます。



▲参加者と民生児童委員の皆さん
カルガモクラブは随時参加者を募集しています



▲母親同士情報交換しながら交流を深めます

歳までに基本的なものが決まるので、クラブを通して親と子どもの成長がでさる学びの場を提供したい」と述べ、横山圭子民生児童委員協議会会長は「皆でクラブを楽しくやっつけていきましよう」と挨拶されました。

その後、参加者とスタッフの自己紹介や自由遊びなどで交流を深めていきました。

「カルガモクラブ」

◆活動／月1回(10時～11時30分)

◆会費／無料

◆募集／会員制で随時募集

◆問合せ／町教育委員会

(Tel 82-5320)

民生児童委員について

◆民生児童委員とは？

民生児童委員とは、正しくは民生委員・児童委員と言います。町内の32名がそれぞれの地区で活動しています。そのほかに、子どもや子育てを専門に担当する主任児童委員が町内に2名います。

◆どんな人がなっているの？

民生児童委員は、地域から推薦され、厚生労働大臣から委嘱を受けた無報酬のボランティアです。地域の中で社会福祉に熱意のある人が選ばれています。

◆どんな活動をしているの？

地域に暮らす住民の身近な相談相手として、生活上の心配事や困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じる活動をしています。



▲民生児童委員の皆さんによる子育てサポート

上記のカルガモクラブの運営にも大きく携わっています。

◆民生児童委員の役割りとは？

民生児童委員は、地域の身近な相談相手というだけでなく、必要な支援への「つなぎ役」、「地域の見守り役」として重要な役割を担っています。高齢者や障がい者世帯等を定期的に訪問し、相談された内容を行政につないだり、体調の悪化や状態変化の情報提供や犯罪被害防止のための働きかけ等も行っています。さらには、災害時の避難支援体制づくりのため、要援護者名簿の作成にも協力しています。

民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された「再生顧問制度」にはじまり、平成29年で制度創設100周年を迎えます。長きにわたり地域福祉の増進に大きな役割を果たしてきた制度です。

民生児童委員の任期は3年間(再任可)で、現在委員として活動されている方は、今年の11月30日で一旦任期が終了します。その後、新たに委員として委嘱され、地域で活躍されることとなります。

ご自分のこと、ご近所のこと何か困ったことがあれば民生児童委員にご相談ください。地区の委員がわからないという場合は、役場保健福祉課にお問い合わせ頂ければお近くの委員の方をご案内いたします。

◆問合せ／保健福祉課

(Tel 84-7010)

県消防操法競技南会津地方大会

只見町消防団選手の結団式

今年の福島県消防操法競技南会津地方大会に出場する選手の結団式が5月12日、朝日振興センターで行われました。

結団式で目黒邦友消防団長は「皆で協力し県大会を目指して欲しい」と述べられ、目黒町長は「40日間という長い訓練であるが、支えてくれる家族などにも感謝し優勝を目指して欲しい」と挨拶しました。小型ポンプ操法指揮者の梁取麻緒さんは「チームワークを図り、良い結果を目指したい」と抱負を述べました。

大会は7月3日南会津町「会津高原だいくらスキー場駐車場」で、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部の競技が行われます。



▲結団式で激励を受ける選手達

（只見町選手紹介）

◆小型ポンプ操法の部

- 指揮者 梁取 麻緒
- 1番員 菅家 健太
- 2番員 皆川 龍
- 3番員 酒井 俊夫
- 補充員 八久保 高志
- 補充員 皆川 範仁

◆ポンプ車操法の部

- 指揮者 佐藤 隆一
- 1番員 堀金 瞬
- 2番員 加藤 健太
- 3番員 目黒 秀幸
- 4番員 五十嵐 順
- 補充員 三瓶 宏勝
- 補充員 五十嵐 友人



▲上はポンプ車操法選手の皆さん
下は小型ポンプ操法選手の皆さん

みずほ教育福祉財団の助成決定
朝日小学校で贈呈式

公益財団法人みずほ教育福祉財団が助成している「平成28年度へき地教育研究助成」について、今回朝日小学校が選ばれ、5月25日に贈呈式を同校で行いました。

この研究助成は、へき地の小・中学校の児童・生徒が、規模・環境が異なる学校との交流により相互理解を深め、社会性の向上を図ることを目的としており、朝日小学校では、助成金を活用して、いわき市立四倉小学校との交流学習を計画しています。

みずほ教育福祉財団の真鍋典教 育事業部長は「山と海の学校の交流を通して多くの体験をして欲しい」と挨拶され、朝日小学校6年生の馬場澁大さんと目黒希さんは「この活動を通して新たな町づくりに力を入れたい」とお礼の言葉と抱負を述べました。



▲みずほ教育福祉財団より目録を受けとる児童達

只見町の野生動植物を保護するための
住民説明会を開催

5月9日から11日の3日間、町内3振興センターで「野生動植物を保護するための条例」の住民説明会を開催しました。

会では、町民の方々や関係者が町の自然環境や野生動植物を積極的に守る姿勢を高め、「自然首都・只見」として地域の発展を目指すこと、そして只見町の野生動植物を保護するための条例制定を検討していることの説明をしました。

説明会には、3地区あわせて31名の参加がありました。参加者からは、条例の必要性と内容について積極的な質疑があり、理解を深めていただきました。



▲5月9日、只見振興センターでの説明会の様子

「紅組・白組」児童の熱戦!!

町内3小学校で運動会

みんながんばったネ!!



学校の大きなイベントのひとつである運動会が、五月晴れのもと町内3つの小学校で行われました。児童は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、紅組・白組の熱戦を繰り広げました。訪れた保護者や地域の皆さんは、大きな声援で児童を応援していました。

各小学校の運動会の様子を写真で紹介します。

只見小学校



▲5月21日 只見小学校運動会 種目:紅白応援合戦と綱引きの様子

朝日小学校



▲5月14日 朝日小学校運動会 種目:かけっこドーナツ争奪戦の様子

明和小学校



▲5月14日 明和小学校運動会 種目:大玉ころがし、鼓笛パレード、リレーの様子

田植えイベント KARIYASU'16 「100人手植え」開催!!

5月21日、季の郷湯ら里前の田んぼで今年で第2回目となる田植えイベント「100人手植え」が開催されました。町内外の大人から子どもまで約100人が参加し、苗の手植え体験や田植え機の同伴指導などが行われました。

主催者の(有)さんべ農園の三瓶清志さんは「ゆるく長くをモットーに只見を愛する人を増やしたい」、(株)ライズサプールの目黒大輔さんは「2年目のこのイベント、町外の人に只見の魅力を伝え、町内の人には只見の良さを再発見してもらいたい」と話されました。会場は楽しい雰囲気にもまれており、普段農業をしない方や子ども達も、農業の楽しさを感じていました。

今回のイベントは、熊本・大分地震のチャリティも実施しており、主催者のさんべ農園の「コシヒカリ3合」と、ライズサプールの「特製凍み餅2個」をセットにして、会場内で500円で販売し、売上の全額を農業者大学校同窓会熊本県人会に寄付されます。

秋には稲刈りイベントも企画されていますので、是非多くの方に参加して頂きたいと思います。



▲参加者全員で集合写真!



▲手植えにチャレンジ



▲主催者の三瓶清志さん(左)と、目黒大輔さん(右)



▲只見の自然の魅力や楽しみ方が満載です

只見町の自然の素晴らしさを紹介 「只見の自然を楽しむ写真展」開催!!

只見の自然に学ぶ会の写真展が、6月下旬まで入叶津のそば店「八十里庵」で開催され、随時町内の施設や学校を巡回展示する予定です。ブナ林などユネスコエコパークに認定された自然の魅力をパネルで紹介しており、「水辺からはじまる春」「ブナ林の四季」「雪が削った山」などテーマごとに分かれ、只見町の自然の特徴を知ることができます。入場は無料となっていますので、是非ご覧ください。



かいと
渡部 快人くん
(小川)

けいご
五十嵐 慶伍くん
(小林)

なると
三瓶 成翔くん
(只見)

虫歯
ないの
子



(5月31日
3歳児健診)

只見4名山の山開き初陣！ 「要害山」山開き開催

晴天に恵まれた5月8日、要害山の山開きが開催され、町内外から約180名が参加しました。

開山式で目黒町長は、「今年は雪が少なかった為、残雪を見ることはできないが、ブナの新緑を楽しんで欲しい」と挨拶し、参加者と一緒に登山しました。

要害山は生息する草花の種類が多く、今年はタムシバやヤマツツジなど見られました。

また、この日は会津朝日岳や浅草岳も望むことができ、参加者は山頂からの絶景やブナの新緑を楽しんでいました。下山後には駅前で甘酒が振る舞われ、登山者は舌鼓を打ちながら山開きを楽しんでいました。



▲参加者と一緒に登山する目黒町長

只見剣道スポーツ少年団 防犯功労団体として表彰



▲表彰された只見剣道スポーツ少年団の皆さん

5月9日、南会津警察署で開催された南会津防犯協会連合会定期総会において、防犯功労団体として只見剣道スポーツ少年団が表彰を受けました。

これは、長年にわたり剣道を通した青少年健全育成を図ることで地域安全活動を推進し、昨年は「河井継之助杯只見剣道大会」を初開催するなど、広域にわたる活動が評価されたものです。現在町内21名の小学生が礼儀正しくも熱のこもった稽古に励んでおり、さらなる活躍が期待されます。

さらに、防犯功労者として五十嵐修さん、優良防犯連絡責任者として目黒啓次さんが受賞されました。

ふるさと交流都市「柏市」 新規オープン複合施設 「daichi(大地)」で只見町をPR

5月21日に、ふるさと交流都市である千葉県柏市で新たにオープンしたアンテナショップ「daichi」で、只見町の特産品のPRを実施しました。

アンテナショップ「daichi」は、JAちば東葛が経営する店舗です。ふるさと交流都市であることをきっかけに、只見町の特産品を取扱うことになり、只見町のPRも含め販売しました。

連日多くのお客様で賑わっており、只見町の特産品も人気がありました。今後も継続して販売しながら、柏市民の皆さんに只見町のPRを実施します。



▲柏市民の皆さんに、只見町の特産品をPR

新緑の只見湖岸を満喫！ 只見地区「第27回 町民ハイキング」開催

5月29日、只見地区で町民ハイキングが行われ、115名の方が参加しました。

青少年旅行村をスタートし、参加者は2.8kmと4.7kmのコースに分かれそれぞれ只見の新緑を感じながらハイキングを楽しみました。

ゴール後には、用意されたとん汁を食べたり、恒例のお楽しみ抽選会も行われたりと参加者は楽しい一日を過ごしました。



▲晴天の中、参加者全員で記念撮影

只見町ブナセンター 春の自然観察会

今年もゴールデンウィークに2つの自然観察会を行いました。今年は雪が全く残っておらず例年とはまた違った観察会になりました。



4月30日(土) 「春の花観察会」

黒谷川流域で行った春の花観察会には、町内外から32名の方々が参加されました。

今年は、この観察会の目玉、フクジュソウのお花畑は見られませんでした。例年とは違う春の風景を見つけることができました。入口近くには、カタクリとキクザキイチゲの花がわずかに残っていました。変わり果てた姿は、春植物がいかに雪の消長に左右されるかを物語っていました。雪解け後の一時期だけ姿を見せてあっという間に消えてしまう春植物のあり様を、逆にはっきりと見ることができました。林道脇の崖や斜面では、エイザンスミレやミヤマキケマン、ヒトリシズカ、キバナイカリソウ、カキドオシ、サギゴケソウなど多くの花を見つけることが出来ました。ひときわ盛り上がったのはラショウモンカズラです。羅生門で切り落とされた鬼女の腕に見立てて名がつけられと言われています。あいにくのお天気でしたが、じっくりと花を眺めたり、写真を撮ったり、楽しい時間となりました。



▲黒谷川流域での春植物の観察

5月1日(日) 「春のブナ林観察会」



▲シンボルツリーであったブナの巨木

当日は早朝から雨が降っていましたが、47名の方に参加いただきました。今回は参加者が多かったため、只見町公認ガイドのお二人にガイドボランティアとして参加いただきました。観察会は10人ほどのグループに分かれて、癒しの森を解説しながら歩きました。ブナ林に入ると去年落ちた種子から芽が出ていました。普通の葉とは違う子葉の形に参加者の方も驚いていました。癒しのブナの森の「国界のブナ」は3年前に寿命をまっとうして枯死し、倒れて上を見上げると大きな穴(ギャップ)が見えます。ここでは全員にこのギャップができて明るくなり、どういった植物が成長していくか(ギャップ更新)について説明しました。他にも、ブナ二次林の青春広場、大きなヤマナシの木などを観察しました。外出を思い悩んでしまう雨の日ですが、そういった日だからこそ見られるものもあり楽しい観察会になりました。

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 山内 健士朗



「キビタン健康ネット」いよいよ始動します！

みなさん。こんにちは。朝日診療所の山内です。だんだんと暖かくなって過ごしやすい季節になってきましたね。

ところで、普段お医者さんからお薬を頂いている方はどちらの医療機関に通院されているでしょうか。朝日診療所だけでなく、手術や専門の治療が必要で、複数の医療機関を併診している方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんなときに、かかりつけのお医者さんに他の医療機関で受けた治療や薬の処方内容を尋ねられて、うまく説明できなくて困ったことはありませんか。

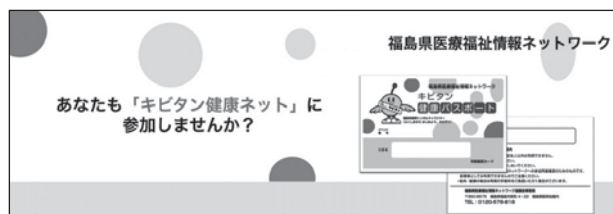
平成26年から福島県の病院や薬局、介護施設などが協力して地域全体で患者さんの健康を守るため、医療機関を受診された際の診断、治療内容、説明内容などを共有できるよう地域医療連携ネットワークの整備・運営が進められてきました。そのネットワークを「キビタン健康ネット」と言います。いよいよ6月から、会津地域の朝日診療所、県立南会津病院、竹田総合病院、会津中央病院、会津医療センターなどでもこのネットワークが開始されます。この「キビタン健康ネット」を利用することによって、各医療機関でのカルテや治療内容を直接

医師が確認できるようになり、患者さんへの理解がよりスムーズかつ正確になります。

このネットワークを利用するためには、みなさんに診療情報共有同意書にサインをして頂き、「キビタン健康パスポート」を作っていただく必要があります。キビタン健康ネットは参加する施設だけが情報を閲覧できる安全なネットワークです。また、あらかじめパスポートを作っておくことによって、救急車で会津若松に搬送された場合でも、搬送先の病院でも普段の治療内容を迅速かつ正確に把握することができます。

朝日診療所でも、よりよい医療サービスを皆さまが受けられるよう、キビタン健康パスポートのご登録をお願いすることもあると思いますので、よりよい医療の提供のために是非ともご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

では、今年も元気に夏を乗りきりましょう！



地域おこし協力隊として vol.19 只見町教育振興協力隊 末谷 広大

「今年も広報活動開始」

4月に平成28年度の只見町山村教育留学生を迎えたばかりですが、今年も昨年同様、県内外の中学校訪問(只見高校・只見町山村教育留学制度紹介及び生徒募集活動)を行います。中学校訪問をするにあたり、只見高校の進学率を改めて調べてみましたが、平成27年度卒業生40名に対し国公立大学の合格数が4つ、学年で見ると10%の生徒が国公立の大学へ進学していることとなります。

また4年大学進学希望者13名に対する割合で考えると、なんと国公立大学進学率31%という数字が出ます。改めて、只見高校に通う生徒たちの日々の頑張り、それを支える教職員の絶え間ない支援を感じることが出来ます。来年度は、奥会津学習センターも増設され、現在男女共同で使

用している奥会津学習センターも男子寮、女子寮とに分かれての運営となります。そして募集定員が13名から20名程度まで増加しますので、それに対応できるよう県内外への広報に力を入れていきたいと思っております。

(追伸)

今年、只見駅裏のT.S.farmでは来町される方々に目でも只見を楽しんでもらえるように、農作物以外に向日葵を植える予定です。只見線をご利用の際はぜひご覧いただければ幸いです。

(T.S.farmとは…。留学生農園 Tadami student farmの略称です)

町史

とっておきの話

263

福島県中世史研究会

柳内 壽彦

同時代史料が語る只見の歴史②

成法寺観音堂で発見された巡礼納札

―伊北住人妙金の巡礼―

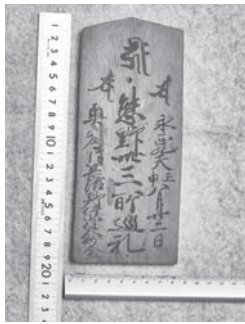
妙金の巡礼納札

昭和四十年から四十一年にかけ

昭行われた成法寺観音堂の解体修理の折、一枚の巡礼納札が堂内の長押し板壁に竹釘で打ち付けられた状態で発見されました。しかし、修理報告書に記載された後、その所在が不明となりました。それが平成二十七年七月二十二日、只見町教育委員会による神社仏閣悉皆調査で成法寺本堂の部屋の押し入れの中から再発見されたのです。巡礼納札は山形をした五角形で、縦一九・一cm、横八・一cm、厚さ〇・八五cm、材質は杉です。梵字と銘文は次のとおりです。



▲成法寺観音堂



▲妙金の巡礼札

サ 永正九年壬申 八月廿二日

キリーク 熊野卅三所巡礼

サク 奥州会津長沼郷伊北住人妙金

この巡礼納札は、会津長沼郷伊北の住人妙金が熊野三十三所の巡礼をへたし、永正九年（一五二二年）八月二十二日の日付をもって板札に銘文を記して観音堂に納めたものです。梵字のキリークは阿弥陀如来、サは観世音菩薩、サクは勢至菩薩で、阿弥陀三尊をあらわしています。熊野は紀州（和歌山県）の熊野、三十三所は西国三十三所でしょう。西国札所の第一番が熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社（新宮）・熊野那智大社）の一

つ那智の青岩渡寺で、熊野参詣をしたあと西国三十三所巡礼へ入ったと考えられます。長沼郷は記されていない郷名です。なぜ伊北郷としかなかったのか、これは今後の研究課題です。なお、巡礼者の妙金については伊北郷のどの村に住んでいたどのような人物かわからないのですが、『新編会津風土記』の会津郡和泉田組下山村の観音寺の宝物に「正観音木像一軀、座像長九寸余、奥州伊保郷下山村願主常金・妙巡 皆永正十一年甲戌以下ノ文字分明ナラスト書付アリ」の記述があります。妙金は願主のひとり妙巡と何か関係がありそうですね。下山村（旧南郷村）は梁取村の東隣の村で中世の伊北郷に含まれます。永正十一年は一五一四年、伊保郷は伊北郷のことです。

熊野信仰

浄土教の普及につれて紀伊の熊野が阿弥陀浄土に擬せられたため、平安時代後期以後、熊野三山への



▲観音寺（南会津町下山）の正観音坐像

参詣が盛んになりました。鎌倉時代以後は皇族・貴族のほかに、武士や庶民の間にも広まっていきました。沿道に約九〇の若王子（三十三所巡礼が成立していきまわりました。三十三観音への巡礼は、先ず畿内地方を中心にはじまり（西国三十三観音）、次いで関東（坂東津でもっとも早い西国三十三観音巡礼は、明応五年（一四九六年）三月に柳津（柳津町）の一王坊が三年をかけて成しとげています。妙金はどのような願いをもって巡礼に行ったのか興味深いです。

三十三観音信仰と巡礼
観音信仰は観音菩薩を崇拝するものです。すべての人々を救済し、この世において利益を得ることができるといふ現世利益の仏としての信仰され、各地に観音信仰の拠点

と称しました。



町民文芸

只見短歌会

四月詠草

大塚栄一

指導

色違ふチューリップなど活け透析のなき日の夫は穏やかにある

古川 英子

書き終へし文字嬉し気に見せてある入学したての曾孫に拍手す

目黒 富子

病重き友を見舞ひて握る手の返す力の弱きが悲し

馬場 八智

茎立ちの緑の畝に降りかかる名残雪見る白き花のごと

関谷登美子

浅雪に春早けれど遅霜の下りし山の木々未だ芽吹かず

新国由紀子

淡き雪日に照りながらただよへる町を気ままになりて歩むも

小倉キミ子

広辞苑も大辞林をも用なさずスマホがあれば何でも事足る

渡部ゆき子

下を向きスマホ片手に歩きある若者多きは時の流れか

渡部ヨリ子

降る雨に寂しきつのり窓開けて餌欲りてある鳥に声かく

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

五月例会

目黒十一

指導

木の根明く街道に沿う会津桐

礼

空樽を積む北窓を開きけり

山鳥の尾羽池塘に浮くしじま

順子

うらかなや豚の乳首の塞がりて

草餅やもと酒蔵の喫茶店

固巻の葉つ葉ツノ出すチューリップ
入園見鐘の前に百面相

都

修一

除染せし浜の実家や木瓜の花

軒先に種芋圃み村の人

夏きざし玄関先は花だまり
岩魚釣るこの流れにも涙あり

味代子

一穂

新茶汲む先に香りの届きけり

堰上る水頭より田の湿り

声出せば押し寄せて来る夏の山
観音の視界を領す植田かな

恒夫

敦子

芽柳や乳色となる只見川

春爛漫白寿の翁を祝う歌

今月の お知らせ

試験

平成28年度 国家公務員
「税務職員採用試験」
(高校卒業程度)のお知らせ

- 仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。
- 国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？
- **受験資格**
1 高卒見込の者及び高卒後3年を経過していない者
2 人事院が1に掲げる者と同等の資格があると認める者
 - **受験申込受付期間**
平成28年6月20日～29日
 - **受験申込方法**
受験申込みはインターネット

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係	☎ 82-5210
町民生活課 税務係 町民係	☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

視覚障がい者の教育相談

ト申込みとします。
なお、インターネットで申し込めない場合は、受験申込受付期間前に仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局へ連絡して下さい。

● 第1次試験日

平成28年9月4日

● 試験に関するお問い合わせ先

仙台国税局人事第二課
試験研修係

☎ 022(263)1111

(内線3236)

人事院東北事務局

☎ 022(221)2022

お知らせ

聴覚障がい乳幼児子育て相談 『みみちゃん教室』

疾病などによる視機能低下(著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損等)で進学や就労でお困りの方の教育相談を行なっています。

きこえやことばの不安、悩み、心配及び補聴器や人工内耳のことなどお気軽にご相談ください。

● 開催日

毎月第2・4週の月々金

(9時～16時)

● 対象

原則18歳以上の方(高校生も可)。お気軽にお問い合わせください。

● 問い合わせ先

県立盲学校(福島市)

☎ 024(534)2574

● ところ

午前9時～午後4時30分

聾学校会津分校内

「みみらんど・會津」

● 費用／無料

● 問い合わせ

福島県立聾学校会津分校教頭

☎ 0242(22)1286

税 今月の納期

6月27日までに
納めましょう

- 町県民税(1期)
- 水道使用料(1期)
- 農集排使用料(6月分)

只見おもしろ学クイズ

5月、6月は山開きシーズンの為、今回は町の山に関する選択問題です。

(問題)

次の中で一番高い山はどれですか？

- ① 浅草岳
- ② 会津朝日岳
- ③ 蒲生岳
- ④ 要害山

(答えは17ページです)



フナリン

気象庁福島地方気象台より 「特別警報」について

大雨などにより重大な災害の発生するおそれがある場合、福島地方気象台では、警報や特別警報などを発表して、厳重な警戒を呼びかけています。

特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。ただちに地元市町村の避難情報等を確認し、周囲の状況に応じて、適切な行動をとってください。

特別警報が発表された時には、既に外出が困難な状況になっていることがあります。警報等を活用し、早めの避難行動をとることが自分や家族の命を守ります。日頃から、周囲の危険箇所や避難場所、避難経路を確認しておきましょう。

特別警報発表の際は、「緊急速報メール」でもお知らせいたします。

特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。

◆お問い合わせ先

気象庁福島地方気象台

☎024(534)0321

町長の手帳

町長スケジュール (5月分)

- 6日 職員辞令交付
- 8日 要害山開山式
- 9日 南会津地方土地開発公社監事会、南会津地方町村会等監査、南会津地方町村会総会、会津高原ふるさと推進協議会理事会、南会津地方土地開発公社理事会、南会津地方林業協会総会、南会津地方緑化推進委員会、南会津地方広域圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会、南会津防犯協会連合会総会、南会津地方町村連絡会議懇談会(南会津町)
- 10日 只見町議会5月会議、只見町商工会通常総代会、過疎地域振興懇談会(福島市)
- 11日 只見町健全育成町民会議総会
- 12日 湯ら里取締役会、特別功労者 故須佐信夫氏告別式、只見線活性化対策協議会総会(会津坂下町)、消防ポンプ操法大会選手結団式
- 15日 観光まちづくり協会定時社員総会
- 16日 阿賀川河川事務所長来庁
- 17日 福島県中・県南・会津地区国道協議会総会(郡山市)
- 18日 福島県水源林造林推進協議会理事会(福島市)、極上の会津プロジェクト協議会総会・総決起大会、日本遺産事業に関する市町村長会議(会津若松市)定例庁議、只見線復興推進会議検討会(福島市)
- 19日 滝堆砂対策協議会(金山町)、湯ら里定時株主総会
- 20日 会津総合開発協議会南会津地方部会、会津総合開発協議会定例総会、
- あいつふるさと市町村圏協議会総会、会津縦貫南道路整備促進期成同盟会総会、会津・野岩鉄道利用促進協議会総会(会津若松市)
- 24日 福島県森林林業緑化協会監事会・役員会、南会津関係者懇談会(福島市)
- 25日 福島県町村会定期総会、福島県鉄道活性化対策協議会総会(福島市)
- 26日 只見町議会5月第2回会議、只見川河川整備促進期成同盟会総会(金山町)
- 30日 補正予算町長査定、東北農政局福島支局長来庁、会津ただみ振興公社株主総会
- 31日 自民党国土交通部会要望活動、森林環境税創設による県選出国会議員への要望活動(東京)

「只見高校存続への思い」

只見町山村教育留学生の寮増設がいよいよ着手されます。場所は現在の寮の真向かいに建設され、28名分の広さを増設します。これにより各学年20名、三学年合計60名の留学生を受け入れることができるようになります。只見高校の振興対策として、山村教育留学制度がスタートしてから早や14年。全国に先かけ実績を積み上げてきましたが、この間に子どもの減少は更に進み、今年度の只見高校入学生は36名(内14名が山村教育留学生)で、定数70名の過半数にやっと届く状況でした。今回の寮増設は、町内の小・中学校の生徒在籍数を勘案し、高校存続と振興にむけた二期対策ですが、高校存続だけでは守っていかなければなりません。もし、只見高校が無くなり16歳から18歳までの世代が町外に出て行ってしまうたら、町は歪な地域社会になり、将来はあり得ないと考えます。

今後の山村教育留学制度は、留学生自身にとって只見で暮らす3年間で有意義なものであり、町の子供達にとっても良い刺激を与え合いながら切磋琢磨できる、生徒数の確保だけではなくより充実した制度が一層求められます。そして何よりも只見中学校から只見高校へ、地元の進学割合が向上して欲しいと思います。

将来を考えると高校の選択肢は多様ですが、願わくば生まれ育った自然豊かな只見町で、将来を切り開く力の礎を築いて欲しいと思います。只見高校の先生方の学習指導・進路指導にかけける情熱と、その実績はどこにも負けません。進路を考える時期、只見高校への進学を親子共にじっくりと総合的に考えて頂きたいと切に願っています。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(4月26日～5月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとございます

目黒 百笑 (女/道人・視美) 舘ノ川

■おくやみ申し上げます

須佐 信夫	91歳	八木沢
梁取 直司	83歳	小林
佐藤 伊佐男	71歳	入叶津
馬場 アキ子	92歳	蒲生

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成28年5月1日現在

人口 4, 413 (+29)
 男 2, 161 (+23)
 女 2, 252 (+6)
 世帯数 1, 809 (+19)
 高齢化率 44.69%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 42 転出 5 出生 0 死亡 8

あとがき
 ▽皆さんこんにちは。今月号で発行2回目となりますが、前号発行後に、私について「三瓶さんは男ですか？女ですか？」と質問がありました。私は「男」です。宜しく願います。
 ▽5月もあつという間に過ぎていきましたが、今月は五月晴れが続ぎ、田植えや屋外のイベントにとつて最高の天候でした。しかし、気温も一気に上がって夏日が続ぎ、屋外の取材が多かった今月、私の腕は早くも日焼けで皮がむけてしまいました。役場も5月からクールビズを実施し、暑さ対策をしています。皆さんも暑さ対策してお過ごしください。

(三瓶)

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

只見振興センター
三瓶美由紀

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★世界でいちばん貧しい大統領からきみへ



くさば よしみ/編(汐文社)

ムヒカ前大統領から、日本の子どもたちに贈るメッセージ。絵本=スピーチでは語られなかった、彼が大切にしている「言葉」をとおしてその人柄・哲学があなたの心にしみわたります。イラストたっぷり10歳から大人まで読めるメッセージブックです。

ージブックです。

★くものうえのハリー ぼくとおかあさんのたからもの



城井/文
(パイインターナショナル)

100万人が泣いたアニメーションの絵本化! ジーンと心に響く、親と子の感動の物語。「幸せは、なにげない日常にあるもの」だと気づかせてくれる、大切な人に「ありがとう」と伝えたくなる感動の絵本です。

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受付けていますので、ぜひご利用ください。



只見おもしろ学の
答え合わせ!!

15 ページクイズ答え

②合津朝日岳

だよ!!

フナリン

アズマシャクナゲ (学名: *Rhododendron degronianum*)

[ツツジ科 ツツジ属]



▲要害山登山道

シャクナゲは「石南花」と書きます。南向きの石の多い場所を好んで生育することから中国で名づけられたものです。ところが、中国と日本のシャクナゲは別な種類です。日本にはシャクナゲの仲間はいくつかあり、只見町にはアズマシャクナゲとハクサンシャクナゲの2種類が分布します。どちらも浅草岳や会津朝日岳など山地や亜高山に生育しますが、葉と花の形状で見分けることができます。葉を見るとアズマシャクナゲは細長く先端付近が広がっています。それに比べてハクサンシャクナゲは楕円形で縁が裏に巻いています。花の切れ込みを見るとアズマシャクナゲは6~7裂のものが混じるのに対し、ハクサンシャクナゲは5裂になっています。この2つの特徴を捉えれば2種類の区別も簡単なものになるでしょう。

蒲生岳、会津朝日岳、浅草岳の山開きの頃がちょうどシャクナゲの花期にあたります。登山道沿いにきれいで大きなシャクナゲの花を楽しみながら登山を楽しめそうです。

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

企画展示

「春植物の生活史

つかの間の季節を生きる色とりどりの花たち」

期 間：6月13日(月)まで

問い合わせ先:只見町ブナセンター 電話0241-72-8355

7月から昆虫の企画展が始まります。ユネスコエコパーク事業の自然環境基礎調査として2年間に渡り昆虫相の調査をした結果を報告します。